

# Japan IT Security Strategies (Japanese Version)

AN IDC CONTINUOUS INTELLIGENCE SERVICE

ランサムウェアを利用したサイバー攻撃は金銭目的の攻撃を増加させ、機密情報を保持する企業だけでなく、ビジネスやサービスを提供するあらゆる企業や組織の経営リスクとなりました。サービスの停止、情報漏洩による被害が社会に深刻な影響を与えており、情報セキュリティ、コンプライアンス強化はビジネス継続のための喫緊の課題です。IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan IT Security Strategies (Japanese Version)」では、情報セキュリティを実現する製品（ハードウェアおよびソフトウェア）およびサービス市場全体を調査対象とし、主に企業の情報セキュリティ対策動向に焦点をあてて調査／分析、予測を行います。また製品を目的別に分類し、詳細な市場、ベンダー動向／予測やテクノロジーの将来の方向性についても情報を提供します。2023年は、IoTやOTセキュリティを調査対象とし、市場予測やユーザー調査を行います。

## Markets and Subjects Analyzed

- セキュリティソフトウェア
- セキュリティハードウェア
- セキュリティサービス

## Core Research

- 国内情報セキュリティ市場予測
- 国内情報セキュリティ市場 競合分析
- 国内サイバーセキュリティ市場予測
- 国内サイバーセキュリティ市場 競合分析
- 国内 IoT セキュリティ市場予測
- 国内情報セキュリティ市場 企業ユーザー動向調査
- 国内 IoT/OT セキュリティ市場 企業ユーザー動向調査
- 国内情報ガバナンス／コンプライアンス市場動向
- 国内セキュリティサービス市場動向
- IDC FutureScape: Worldwide Future of Trust 2023 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan IT Security Strategies \(Japanese Version\)](#).

## Key Questions Answered

1. 国内企業の情報セキュリティ導入状況、また今後の導入についての方向性とベンダーに対する期待は？
2. 国内情報セキュリティ市場規模と今後の予測は？
3. 情報セキュリティにおける最新テクノロジーと、ベンダーが用意している製品は？
4. 国内 IoT セキュリティ市場規模と今後の予測は？
5. 情報セキュリティソリューションの導入実態と動向および市場規模は？
6. 国内情報セキュリティ市場での成長要因は何か？
7. 国内情報セキュリティ市場に必要なビジネス戦略とは？

## Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較／分析を行います（アルファベット順、50 音順）。

ALSI、BlackBerry、Canon、CrowdStrike、Digital Arts、FFRI、F-Secure、Google、IBM、NEC、Netskope、Trellix、VMware、Zscaler、シスコシステムズ、ソフォス、チェックポイントソフトウェア、トレンドマイクロ、日本ヒューレット・パッカー、パロアルトネットワークス、フォーティネット、富士通、マイクロソフト、マカフィー、その他